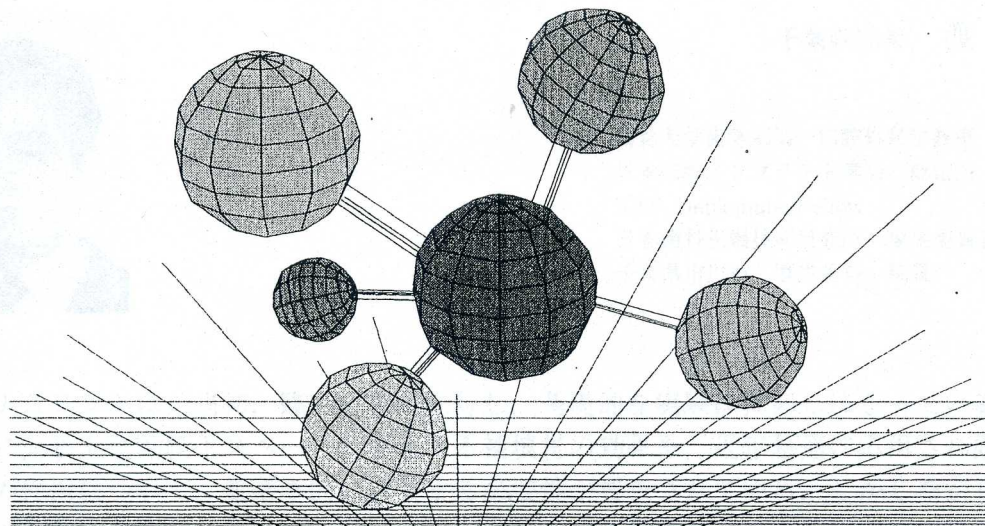


第2回日本PRP臨床応用研究会



場所：日本歯科大学 九段ホール

日時：2003年9月13日(土) 9時25分開会(受付8時45分より)

【午前】

9:25~9:30 開会挨拶：白川 正順 日本歯科大学教授

9:30~12:00 シンポジウムⅠーPRP生成の現状ー

1. PRP至適条件の臨床的意義

2. トロンビン代用としてのアルギン酸ナトリウムの可能性について

3. 少量の自己血液から迅速にトロンビンを生成する方法

4. 各種遠心分離機の比較検討

5. PRPにおけるデリバリーシステム

12:00~12:20 まとめ

座長：水木 信之, 渡辺 孝夫
岩手医大口外 大屋 高德

藤枝市立総合病院口外 澤裕 一郎

座長：今井 裕, 玉木 仁

台湾国立陽明大学 蘇 正堯

名古屋市開業 伊藤 輝夫

東京都開業 加藤 英治

コーディネーター：萩原 芳幸

— 昼 食 —

【午後】

13:30~15:30 シンポジウムⅡーインプラント埋入とPRPの有用性ー

1. PRPのインプラント応用に関する文献的考察

2. 重度なインプラント周囲の骨吸収に応用した骨再生の形態的評価

3. インプラントにおける顎再生とPRPのHF評価

4. PRP応用の組織学的変化

15:30~15:50 まとめ

15:50~17:20 シンポジウムⅢ

— 歯科臨床におけるPRP応用の現場と将来の展望 —

講師全員によるフリートーキング・ディスカッション

座長：赤坂 庸子, 岩渕 良幸
日大補綴 萩原 芳幸

台北医学大学 George Lin

座長：伊藤 輝夫, 澤裕 一郎

東京都開業 奥寺 元

千葉県開業 渡辺 孝夫

コーディネーター：伊藤 輝夫

座長：大屋 高德, 水木 信之

17:20~17:30 閉会挨拶：久保田 英朗 神奈川歯科大学教授

18:00~ 懇親会

主催 日本PRP臨床応用研究会
後援 東京形成歯科研究会



千葉県開業 渡辺 孝夫

鶴見大学歯学部第一口腔外科学教室 非常勤講師
日本口腔インプラント学会 認定医
ICOI, Diplomate, Fellow
日本歯科先端技術研究所 編集委員長
千葉縣市川市, 厚生歯科 院長

サイナスリフトは、当初、臨床応用が先行し、基礎的な実験は後回しになっている帰来がある。特に、挙上洞粘膜下スペースに填塞する補填材の効果や、近年急速に応用され始めているPRPの作用について、組織学的に理解する必要性が要求されている。しかしながら、臨床の患者さんから、挙上洞粘膜下スペースに起きている組織学的変化の全体像を、経時的に探索することは、不可能に近い¹⁾²⁾。この点を明らかにするため、我々はイヌ前頭洞に、臨床に順ずるサイナスリフトを行い、各種補填材の填塞とインプラントの同時植立をし、経時的に、挙上スペースの組織学的変化を観察する動物実験を行った³⁾⁴⁾。その結果、新生骨は、洞壁既存骨と挙上洞粘膜に付着したままの骨窓部骨片から増殖すること、補填材がなくても新生骨が活発に増殖すること、劇新生骨は、術後1週間より発生し2ないし3ヶ月をピークとして増殖、その後、長期にわたり、徐々に減少することなど、臨床的に興味ある所見が多数得られた⁵⁾。今回の講演では、まず、それらの基本的な組織学的特徴を、凝血期、肉芽組織期、増殖期、および成熟期に分けて説明する。ついで、PRPを臨床応用した症例から採取した組織片について、動物実験で得られた所見に基づいて比較、評価したい。

参考文献

- 1) 定永建男他；上顎洞底挙上術と同時にインプラントを行った症例，第1報；日口腔インプラント誌，6,231-236, 1993.
- 2) 清水治彦他；骨補填材なしに上顎洞底挙上術を行った1例；日口腔インプラント誌，7,32-38, 1994.
- 3) 池田哲哉他；サイナスリフトの動物実験においてヒト凍結乾燥脱灰骨に異物反応をおこした実験動物の1例；日本歯科先端技術研究所学術会誌，5,134-140, 1999.
- 4) 日高豊彦他；サイナスリフト，動物実験にみられた洞粘膜糸様構造；日本歯科先端技術研究所学術会誌，7,224-230, 2001.
- 5) 山内典明他；サイナスリフト，挙上スペースより隆起，突出したインプラント周囲の組織像；日本歯科先端技術研究所学術会誌，8,161-165, 2002.
- 6) 清水治彦他；イヌ前頭洞に行った上顎洞底挙上術の実験的研究；鶴見歯学，29,37-56, 2003.